

平成 19 年度学術情報委員会活動報告

学術情報委員会

1. 会議等の開催状況

- ・第 1 回委員会（平成 19 年 9 月 25 日開催）
- ・第 2 回委員会（平成 20 年 5 月 16 日開催）
- ・メール会議（平成 19 年 7 月 26 日）

平成 19 年度電子ジャーナル・タスクフォースの構成について

2. 活動内容

(1) 学術情報委員会の活動について

- ・平成 21 年 4 月に予定されている、国立情報学研究所の目録所在情報システム更新に向けて、図書館システム小委員会を設置し、同小委員会の報告をもとに要望事項等の検討を行い「目録所在情報システム更新に対する要望について」を取りまとめた。
- ・上記をもとに国立情報学研究所図書館連携作業部会次世代目録ワーキンググループと学術情報委員会との合同ワークショップを開催し、目録所在情報システムの今後のあり方について意見交換を行った。
- ・学術図書館研究委員会（SCREAL、委員長 佐藤義則教授（東北学院大学））から依頼を受けて『学術情報の取得動向と電子ジャーナルの利用度に関する調査』実施への協力を行った。
- ・デジタルコンテンツ・プロジェクトの最終報告書「電子図書館機能の高次化に向けて：3 - 学術情報デジタル化時代の大学図書館 - 」を Web で公開した。
- ・平成 20 年 1 月 17 日～20 日にベトナムのホーチミンで開催された第 3 回 Library Advisory Board Meeting -Asia(LAB Asia)に電子ジャーナル・タスクフォースのメンバーを派遣し、大学図書館を取り巻く学術情報環境への対応等について意見交換を行った。

(2) 電子ジャーナル・タスクフォースの活動について

- ・平成 18 年度に引き続き、各出版社との協議を行うとともに、電子ジャーナルに関する協議状況の概要等について、各地区において説明会を実施した。

(3) 図書館システム小委員会の活動について

- ・国立情報学研究所の目録所在情報システムについて、平成 21 年 4 月の更新への要望を含め、システムの基本構想、今後のあるべき方向性、長期的展望等について検討した。

(4) 学術情報サービス検討小委員会（仮称）の設置を検討

- ・大学図書館におけるあるべき学術情報サービス実現に向けた組織、システム等の検討と実現（国立情報学研究所等との連携を含む）のための小委員会を設置し、平成 20 年度についてはこれらの課題に取り組む。

3. 委員会委員

加徳 健三	北海道大学附属図書館情報サービス課長
北村 明久	東北大学附属図書館事務部長
植松 貞夫	筑波大学附属図書館長（委員長）
田中 成直	筑波大学附属図書館副館長
土屋 俊	千葉大学文学部教授・副理事（図書館情報担当）
関川 雅彦	東京大学附属図書館情報管理課長（～H20.3）
木村 優	東京大学附属図書館情報管理課長（電子ジャーナル・タスクフォース主査）（H20.4～）
伊藤 義人	名古屋大学附属図書館長
牧村 正史	名古屋大学附属図書館情報管理課長（～H20.3）
渡邊 俊彦	名古屋大学附属図書館情報システム課長（H20.4～）
棚橋 章	神戸大学附属図書館事務部長
尾城 孝一	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長

平成 19 年度電子ジャーナル・タスクフォース活動報告

1. 会議等の開催経過

(1) 全体会

- ・平成 19 年 4 月 17 日（火）東京大学附属図書館 第一小会議室

協議・報告事項

2007 年度契約状況調査について

各出版者との協議状況報告

2007 年度地区説明会について

- ・平成 19 年 12 月 7 日（金）東京大学大学院理学系研究科 会議室

協議・報告事項

電子ジャーナル・タスクフォース HP「出版者協議状況」の掲載項目について

平成 20 年度出版者担当の確認

2008 年向けモデルの検討について

電子ジャーナル地区説明会について

JANUL 学術情報流通改革検討 WG の進行状況について

NII 次期システム検討の進行状況について

ICOLC 2007 報告

契約状況調査（平成 19 年度）まとめについて

英国大学図書館の電子ジャーナル基本統計について

Consortium on Core Electronic Resources in Taiwan (CONCERT)

2007 年報告

SCOAP3 の進行状況について

Library Advisory Board Meeting - Asia (from Springer)について

(2) 出版社協議、他

平成 19 年

- 4.10 Sage 協議
- 4.17 RSC, Elsevier, Sage 協議
- 4.11 Science [丸善], Karger 協議
- 4.18 Elsevier シェアード・アクセス参加館意見交換会（於：東京大学医学図書館）
- 5.18 BioOne 協議
- 5.24 Nature 協議
- 5.29 Sage 協議
- 6.06 Nature 協議
- 6.08 CSA 協議
- 6.15 Taylor 協議
- 7.10 RSC, OUP 協議
- 7.17 Nature 協議
- 7.20 Sage, ACS 協議 [ACS は PULC 合同]
- 8.02 Nature 協議
- 8.17 ProQuest (HCPP) 協議
- 8.28 Science [丸善] 協議
- 8.29 Nature 協議
- 8.30 EBSCO, Taylor 協議
- 8.31 Springer e-Book, ProQuest (HCPP), ACS 協議 [PULC 合同]（於：早稲田大）
- 9.11 Sage 協議
- 9.19 Springer 協議
- 10.17 Sage 協議（於：千葉大）
- 10.24 Sage 協議（於：千葉大）
- 10.25 Springer eBook 協議 [PULC 合同]（於：早稲田大）
- 11.06 Wiley-Blackwell, Karger, 読売新聞社 協議
- 11.15 ProQuest (HCPP) 協議 [PULC 合同]（於：早稲田大）
- 12.21 OUP 協議

平成 20 年

- 1.21 Thomson Scientific 協議
- 1.29 ProQuest (HCPP) 協議 [PULC 合同] (於：早稲田大)
- 2.04 Thomson Scientific 協議
- 2.14 ProQuest (HCPP) 協議 [PULC 合同] (於：NII)
- 2.18 Thomson Scientific 協議
- 2.21 Springer 協議
- 2.28 Swets 協議
- 2.29 ProQuest (BioOne, HCPP) 協議 [PULC 合同]
- 3.05 Springer 協議
- 3.10 ProQuest (HCPP) 協議 [PULC 合同] (於：早稲田大)
- 3.13 Springer 協議

その他、出版社協議チームの打ち合わせは、適宜開催された。

(特に記載のない場合、協議は東京大学総合図書館会議室にて行われた。)

2. 主な活動経過

(1) 各出版社との協議等について

2008 年度の契約条件が確定した出版者 (ACM, ACS, APS, BioOne, Blackwell, CUP, EBSCO, Elsevier, IEEE-CS, IEEE-IEL, LWW, Nature, OUP, ProQuest, RSC, Sage, Springer, Springer e-Books, Thomson, Wiley) については、各大学担当者へ通知し、タスクフォースのホームページへ掲載した。

Elsevier 社：2006 年 11 月に中間提案の提示を受け、特にシェアード・アクセスモデルの存続について検討するために、2007 年 4 月 18 日シェアード・アクセス参加館意見交換会 (於：東京大学医学図書館) を開催した。その後、シェアード・アクセス参加館内で幹事館を選び、新規サブジェクトモデルにおけるユニークタイトルリストの作成など、実務的な調整を執り行っていただいた。結果、2008 年度の契約更新に支障のないスケジュールで各館の契約条件を確定することができた。

Wiley-Blackwell 社：Wiley 社分については 2005～2007 年を対象として提示されていた契約条件を 2008 年まで適用することとなった。また、Blackwell 社分については 2007～2009 年の契約条件を適用するが、2009 年以降は Wiley-Blackwell として一つの提案が出される予定である。具体的な協議は、同社の一般価格の設定 (2008 年 3 月末) 後にコンソーシアム提案の内容を検討して行うこととなっている。

(2) 地区説明会の開催

昨年度に引き続き、電子ジャーナルに関する本年の協議状況の概要等について、各地区において説明会を実施した。今年度は特に、電子ジャーナル利用時の注意事項等について、実務的な説明を行った。

(参加者) タスクフォース主査及び委員から2名
主に各大学図書館の雑誌契約担当者

(開催日程)

1. 中四国地区	9月4日(火)	14:00-16:00	岡山大学附属図書館
2. 関東・東京地区	9月12日(水)	10:00-12:00	東京大学附属図書館
3. 九州地区	9月14日(金)	10:00-12:00	九州大学附属図書館
4. 北信越地区	9月20日(木)	14:00-16:00	新潟大学附属図書館
5. 近畿地区	9月25日(火)	10:00-12:00	京都大学附属図書館
6. 北海道地区	9月27日(木)	10:00-12:00	北海道大学附属図書館
7. 東海地区	10月3日(水)	10:00-12:00	名古屋大学附属図書館
8. 東北地区	10月5日(金)	14:00-16:00	東北大学附属図書館

(3) 広報・普及活動について

契約状況調査等を行った。

- ・平成19年5月に国立大学図書館における電子ジャーナル等の契約状況調査(平成19年度)(各大学の予算状況、主要各社の契約状況)を実施、調査結果を集計した。
- ・平成19年9月から10月に実施された電子ジャーナル地区説明会に平成19年度契約状況調査の集計結果を提供すると共に、「契約状況調査(平成19年度)まとめ」を作成した。

タスクフォースのホームページの更新を行った。

- ・統計資料：平成19年度契約状況調査
- ・交渉相手出版及び協議結果：2008年に向けた出版社協議の状況(一覧表)と各出版社別提案内容(提案書、申込書)等
- ・国立大学図書館協会が会員となったCOUNTERの関連資料(実務コードの仮訳、準拠ベンダー一覧等)

(4) 今後の課題

- ・Springer社、Oxford University Press、Wiley-Blackwell社の2009年以降契約モデル
- ・電子ブック、人文社会系全文データベースの契約モデルについて

3. メンバーと役割分担

主 査： 関川 雅彦 （東京大学附属図書館情報管理課長）

出版者協議チーム（出版者との協議）

- 照内 弘通 （東北大学附属図書館情報管理課雑誌情報係長）
- 富田 健市 （筑波大学附属図書館情報管理課長）
- 鴨志田美由喜 （筑波大学附属図書館情報管理課雑誌受入係長）
- 土屋 俊 （千葉大学教授 副理事）
- 加藤 晃一 （千葉大学情報部学術情報課専門職員）
- 森 一郎 （千葉大学情報部学術情報課専門職員）
- 山本 和雄 （東京大学附属図書館総務課専門員）
- 守屋 文葉 （東京大学附属図書館情報管理課資料契約係長）
- * 熊淵 智行 （横浜国立大学図書館・情報部図書館情報課長）
- 吉田 幸苗 （横浜国立大学図書館・情報部情報企画課情報企画係長）
- 小野 理奈 （東京工業大学学術情報部情報図書館課資料整備係長）
- 菅野 朋子 （一橋大学附属図書館学術情報課雑誌情報主担当）
- 渡邊 俊彦 （名古屋大学附属図書館情報システム課長）
- 大塚 志乃 （大阪大学附属図書館学術情報整備室学術情報収集班）

調査・広報チーム（電子ジャーナルの導入調査、広報活動）

- * 加藤 信哉 （東北大学附属図書館総務課長）
- 村田 輝 （埼玉大学研究協力部図書館情報課専門職員図書館企画担当）
- 村上 健治 （京都大学附属図書館情報管理課電子情報掛）
- 首東 誠 （広島大学図書館部学術情報整備グループ図書コレクション主担当）

<備考：*はチーム責任者、平成20年3月31日現在>

図書館システム小委員会活動報告

図書館システム小委員会は、国立情報学研究所の目録所在情報システム更新に向けて、国立大学図書館協会としての要望事項を取りまとめることを目的として、平成19年9月末日を期限とし平成19年6月に設置された。

事業内容

- (1) 小委員会では、国立情報学研究所において、平成21年4月及び平成26年4月の目録所在情報システムの更新に向けて、システムの基本構想の策定、方向性の検討、要件整理が着手されたことを受けて、国立大学図書館協会として要望すべき事項を取りまとめる。
- (2) 検討にあたっては、国立情報学研究所における制約条件等に必ずしもとらわれず、今後の図書館システムのあり方を踏まえて、理想形を追求し、主としてユーザ志向で発

想する。

- (3) 要望事項を取りまとめるにあたっての国立情報学研究所との調整は、学術情報委員会が行う。
- (4) 9月上旬までに、学術情報委員会に検討結果を報告する。

1. 会議等の開催状況

- (1) 在関東メンバー予備打合せ 平成 19 年 6 月 19 日（火） 筑波大学東京キャンパス
- (2) 第 1 回 平成 19 年 7 月 27 日（金） 埼玉大学東京ステーションカレッジ
- (3) 平成 19 年 6 月～9 月 メールによる打合せ

2. 主な活動内容

- (1) 第 54 回国立大学図書館協会総会ワークショップに先立ち筑波大学附属図書館が実施した「図書館システムに関するアンケート」の「設問 3 国立情報学研究所のシステムに対する要望」の回答を整理しまとめた。
- (2) 目録所在情報システム更新に対する要望事項について意見交換を行い、「目録所在情報システム更新に対する要望について」を取りまとめ、9 月 25 日に開催された学術情報委員会に提出した。
- (3) 11 月 28 日に開催された「国立大学図書館協会学術情報委員会と国立情報学研究所図書館連携作業部会次世代目録 WG との合同ワークショップ」に小委員会メンバーが出席、意見交換を行った。

3. メンバー

高橋 努	筑波大学附属図書館情報サービス課長（主査）
村田 輝	埼玉大学図書情報課専門職員
加藤 さつき	東京外国語大学情報図書館課情報サービス係長
熊淵 智行	横浜国立大学図書館情報課長
渡邊 俊彦	名古屋大学附属図書館情報システム課長
筑木 一郎	京都大学附属図書館情報管理課電子情報係
片山 俊治	大阪大学附属図書館利用支援課長
片岡 真	九州大学附属図書館利用支援課調査サービス係